

CSR マネジメント

CSR担当役員メッセージ

CSR経営の深化、「企業価値を守るCSR」と「企業価値を高めるCSR」の両立を目指して、社会から求められる化学企業グループとして、2020年の創業100年を迎えたいと思います。一人ひとりが輝ける企業、多様な価値観を持ったグローバルな企業集団の実現を目指します。透明性と説明責任を果たしながらCSRを推進していくことをお約束します。



執行役員
(総務・人事室長)

町井 清貴

取締役 専務執行役員
(CSR推進統括)

羽毛田 法之

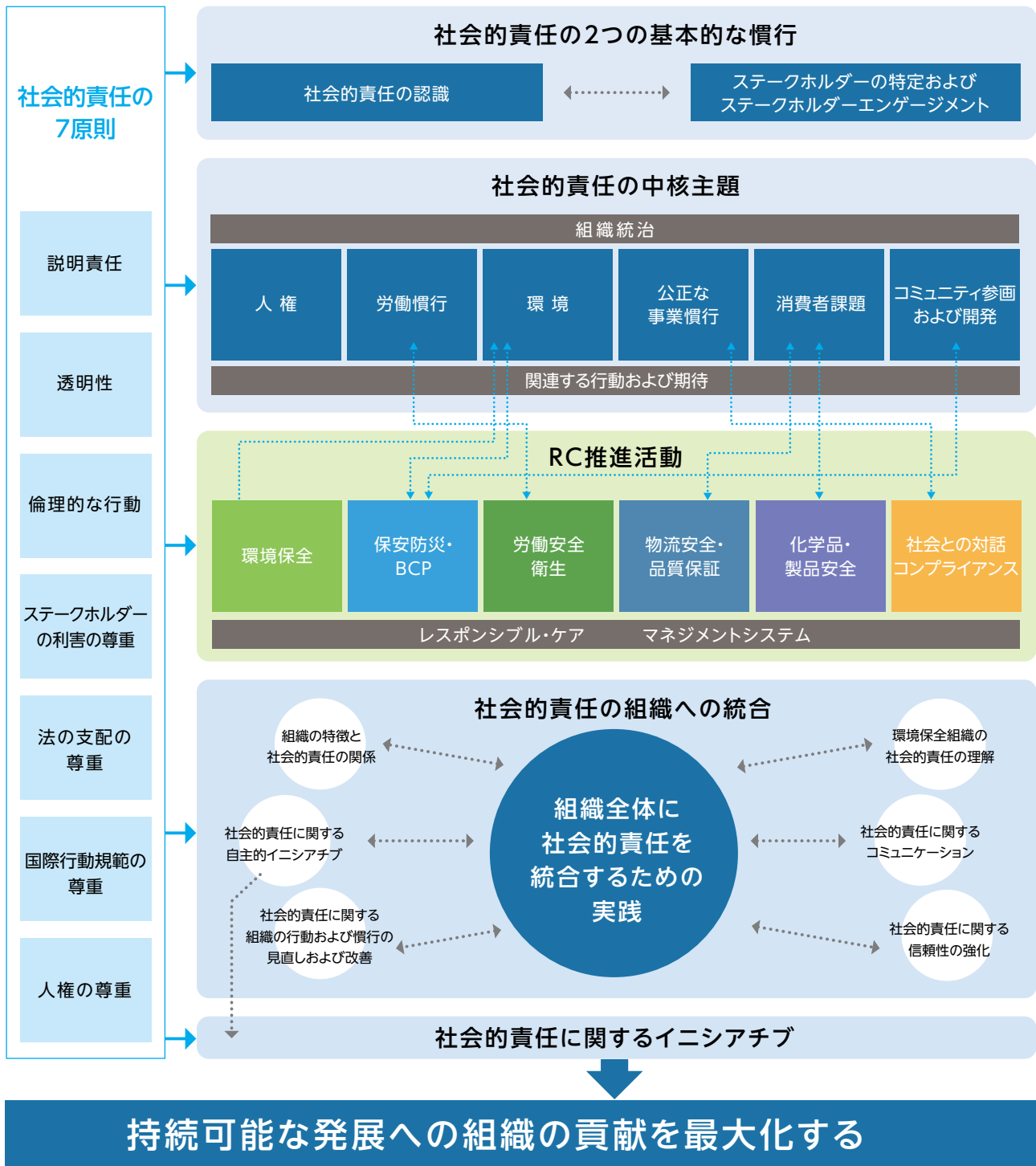
執行役員
(CSR推進室長)

池田 正人

CSR活動

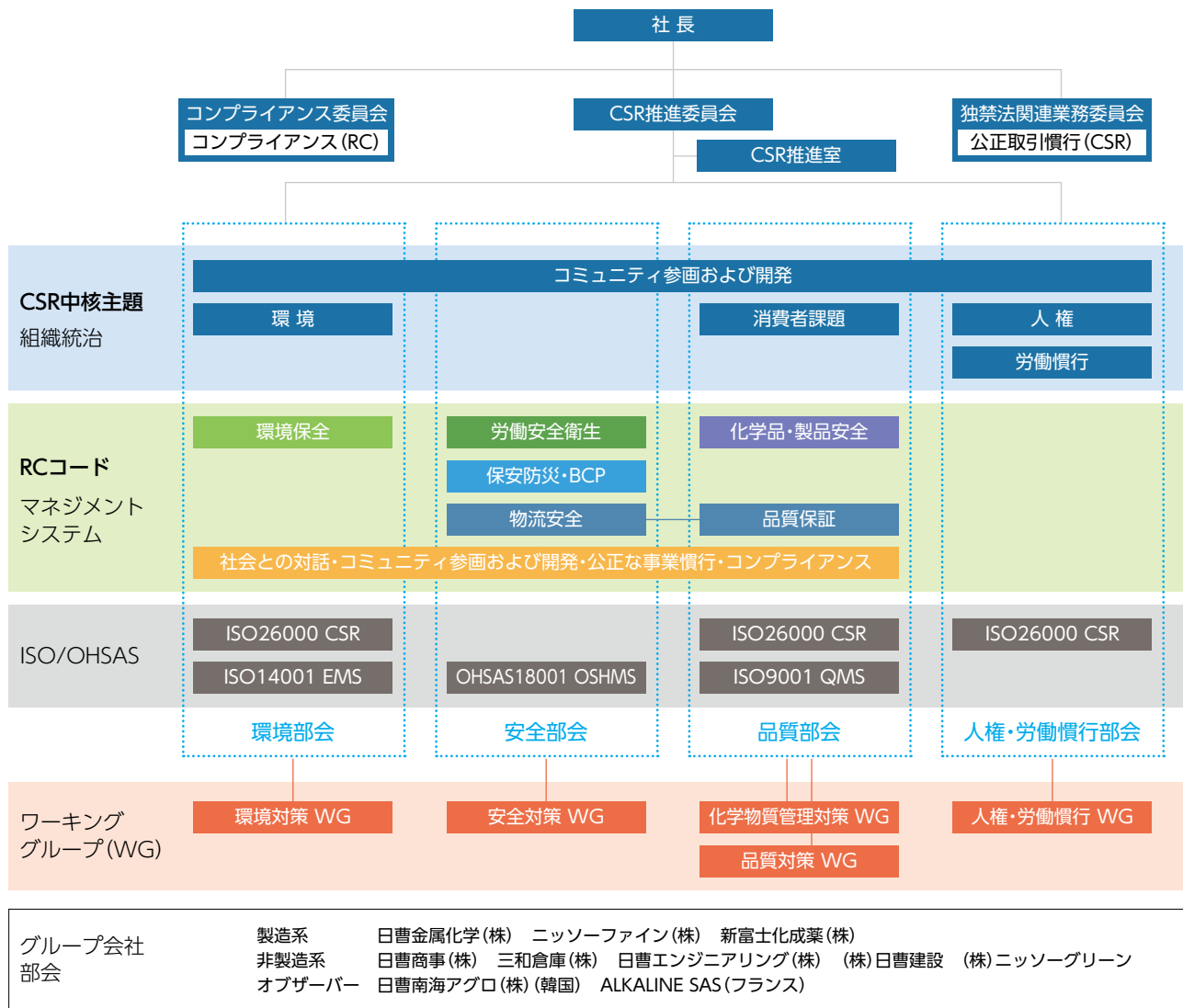
日本曹達グループのCSR活動には、レスポンシブル・ケア(RC)活動のすべてのコード(活動項目)が含まれています。CSRにおいてISO26000「社会的責任の7原則」を、RCにおいて「倫理的に正しい行動をする」ことおよび「自主的なリスク低減活動をする」ことを、すべての活動項目の基本としています。RCの7つのコード(活動項目)とCSRの社会的責任の7つの中核主題(活動項目)は密接な関係があります。日本曹達グループはこれらの活動項目を統合することで8つの活動方針を定めています。

CSR (ISO26000) とRCの関係



CSR推進体制

社長を委員長とするCSR推進委員会はRCを含むCSR活動を推進する全社的な意思決定機関として、継続的改善に向けた年度目標を設定しPDCAサイクルをスパイラルアップさせます。CSR推進委員会は取締役、執行役員、事業場長で構成され、年2回定期的にCSR推進委員会を開催し、経営層による見直しを兼ねています。



CSRマネジメントシステム

日本曹達グループのCSR活動を推進するマネジメントシステムは、PDCAサイクルをスパイラルアップさせる仕組みのことをいいます。継続的改善を実践するために、それぞれの事業場にCSR改善計画の作成(Plan)、計画の実行(Do)、計画と実行の定量評価(Check)、定量評価を踏まえた今後の対応(Act)の実践を求めています。また、活動レベルの妥当性を評価する仕組みとしてグループ全体での監査を実施しています。企業価値を守るCSRでは、1年でPDCAサイクルが廻るように推進しています。年2回5月と11月にCSR推進部会を開催して進捗管理を行います。経営層による見直しはCSR推進委員会として毎年2月と8月に行います。

